



2024 年 7 月 23 日

各 位

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス
コード番号 4004 東証プライム市場
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 高橋 秀仁
問 合 せ 先 ブランド・コミュニケーション部長 山田 亜紀子
TEL (03) 6263 - 8002

石油化学事業に関する子会社（分割準備会社） 設立に関するお知らせ

当社は、2024 年 2 月 14 日に公表いたしました「石油化学事業のパーシャル・スピンオフ検討開始」に関し、本日開催の取締役会において、2024 年 8 月 1 日に分割準備会社として当社子会社の株式会社レゾナック（本社：東京都港区）100%出資の子会社（当社孫会社）「クラサスケミカル株式会社」を設立することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 検討の背景と目的

2024 年 2 月 14 日付「石油化学事業のパーシャル・スピンオフ検討開始に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社における石油化学事業は、当社連結売上高の約 20%を占める主要事業の一つであり、「安定収益事業」と位置付けております。同事業は日本の社会インフラとしての役割を果たす公共的な側面があり、将来に亘って同事業の持続的・安定的な運営を行う必要があります。そのため、本スピンオフにより、独立した上場会社として石油化学のグリーン・トランスフォーメーション実現のための取り組みを加速させることで、更なる利益の成長と競争力を強化することが必要です。

同目的の実現のため、分割準備会社「クラサスケミカル株式会社」を設立し、当社ならびに株式会社レゾナックの石油化学事業の承継にむけ、準備を開始します。

2. 移行方式

当社及び株式会社レゾナックを吸収分割会社とし、「クラサスケミカル株式会社」を吸収分割承継会社とする吸収分割方式を予定しております。（以下「本吸収分割」）。なお当社及び株式会社レゾナックにおいて、本吸収分割は、会社法第 784 条第 2 項の規定に基づく簡易吸収分割に該当するため、当社及び株式会社レゾナックの株主総会の決議による承認を得ずに行う予定です。

3. 今後の日程（予定）

分割準備会社の設立	2024 年 8 月 1 日
本吸収分割に関する取締役会決議	2024 年 10 月（予定）
吸収分割契約締結	2024 年 10 月（予定）
本吸収分割の効力発生日	2025 年 1 月 1 日（予定）

4. 本吸収分割にあたり設立する分割準備会社の概要

(1)	名	称	クラサスケミカル株式会社
(2)	所	在 地 (本 店) (本 社)	大分県大分市大字中ノ洲 2 番地 東京都港区東新橋 1 丁目 9 番 1 号
(3)	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名		代表取締役 福田 浩嗣
(4)	事 業 内 容		・エチレン、プロピレン等の基礎石油化学 製品の製造・販売 ・酢酸を主原料とした有機化学製品の製 造・販売 ・合成樹脂製品の製造・販売、等
(5)	資 本 金		1 円
(6)	設 立 年 月 日		2024 年 8 月 1 日
(7)	発 行 済 株 式 数		1 株
(8)	決 算 期		12 月 31 日
(9)	大 株 主 及 び 持 株 比 率		株式会社レゾナック (100%)
(10)	上場会社と当該会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社 100%出資の株式会社レゾナックの子 会社として設立予定です。
		人 的 関 係	当社及び株式会社レゾナックより取締役及 び監査役を派遣する予定です。
		取 引 関 係	事業を開始していないため、取引関係はあ りません。

5. 今後の見通し

本吸収分割により事業を承継する分割準備会社は、当社の完全孫会社であるため、連結業績に与える影響は軽微と考えております。 また、本吸収分割に関する詳細等については、今後決定次第お知らせいたします。

設立孫会社のパーシャル・スピノフについても、2~3 年後の実行を念頭に置き、詳細内容の検討を進めております。当該検討の中には、新会社の株式を上場する市場、日本や米国をはじめとする各国における税制適格要件の充足可能性等が含まれ、本スピノフの実行は、証券取引所その他の関係当局、ステークホルダーの承認や認定、許認可等の取得を前提としています。

本件に関して新たに開示の必要性が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

6. 新社名について

(1) 新社名

クラサスケミカル株式会社 英語表記 : Crasus Chemical Inc.

(2) 新社名に込めた想い

Cras (明日/ラテン語) と Sustainable (持続可能な)、さらに暮らしと Sustain (支える) のダブルミーニングによる造語です。人々の暮らしに欠かすことができない石油化学産業で、カーボンニュートラルと循環型社会の構築をリードし、サステナブルな社会の実現に貢献する、という想いを込めています。

以 上